

*Hello!*  
*The Greate*



*st me*

最高のジブンになる大学

さまざまな情報にあふれ、様変わりし続ける現代社会。

時代に対応するために必要なのは、ジブン自身を成長させること。

好奇心から始まる多彩な学び。

異文化や多言語と触れ合うことで見つける新しい価値観。

多くの人とコミュニケーションを取ることで生まれる無限大の創造力。

そんな成長につながる佐賀大学での時間が、最高のジブンへと導いてくれる。

年齢も国境も立場も超えて、ジブンらしく輝くために。

さあ、一步を踏み出してみよう。

まだ知らない、最高のジブンへ。

最高のジブンを見つける

**STUDY**

»P8

最高のジブンを叶える

**GLOBAL**

»P14

最高のジブンを育てる

**PLACE**

»P18

最高のジブンをを見つける

# STUDY

## 専門以外の農業を学ぶことで、 経済につながる広い世界を 知ることができました。

経済学部 経済学科

江島 由真 佐賀県 龍谷高等学校出身

### 将来に役立つ経済の知識から、 経営のことまで勉強中です。

私は入学するまで、経済というのは中学高校で学ぶ「社会」のようなものだと思っていました。しかし、実際に授業を受けると数学はもちろん、経営や法学について学ぶことも多く、とても幅広い分野だと実感し、さまざまな方面から経済を知ることができました。これまで消費者目線しか持っていませんでしたが、今ではどのようにお店や会社が成り立っているのかを考えるようになり、街へ出ても新しい発見があり、視点が変わりました。

### 農業を通して見る経済は、 また新しい発見でした。

経済学部はどうしても座学が中心となってしまうので、インターフェース科目のサブスペシャルティコースでは、「実践栽培専攻」を選択しました。主に農作物の栽培の仕方や病気について学んでいますが、これまでまったく知らなかった未知の世界を見ることができ、とても刺激的です。スーパーに野菜が並ぶまでにどんな流通があるのか、どれくらいの価格で売れば利益が出るのかなど、専門である経済にもつながるので、自分自身の考えが広がりました。また、他学部の友人もできて、さまざまな価値観に触れることができました。



芸術地域デザイン学部や理工学部など、さまざまな学部の友人ができました。



経済は座学ではありません。自分の考えを伝えるプレゼンテーションにも力を入れています。



スーパーに並んでいる農作物の育ち方を初めて知ることができました。自分で育てると愛情がわいてきます。

## [ 佐賀大学の学び ]

一般教養で土台を作り、選択した専門分野で学びを深めながら、佐賀大学ならではのインターフェース科目で、専門以外のさまざまな分野を学び、社会に必要とされる力を身に付けます。

教養  
科目

+

専門  
科目

+

インター  
フェース  
科目

### 江島さんの学びのタイプ

#### 経済学部 経済学科

普通の授業ではマクロ・ミクロ経済学や、経営や法学について学んでいます。また、ゼミでは複数人で行動する際に一人の行動が周りに影響を及ぼすという「ゲーム理論」を学んでいます。

+

#### インターフェース科目 サブスペシャルティコース 実践栽培専攻

農作物の特性や栽培方法、土、肥料や病気などを学び、実際に農作物を育て、管理します。農業を通じた経済を学ぶことができます。



+

#### インターフェース科目 サブスペシャルティコース 英語コミュニケーション専攻

英語のネイティブの先生の指導でビジネス分野の専門的な英語をしっかりと学べます。英語コミュニケーションもあるので、話す力にも自信が付きました。



### 多彩な学びが、 私自身の成長につながっています。

私はサブスペシャルティコースで「英語コミュニケーション専攻」も選択しています。経済学部としてもビジネス英語は必須なので、将来世界を視野に入れた選択もできるという心強さもあります。勉強の仕方に迷ったときは、ポートフォリオを活用して先生からアドバイスをいただいています。サブスペシャルティコースは興味があるものを選択できるので、多彩な知識を得られるのが魅力です。他分野を学ぶことで、経済という専門分野につながる知識も深めることができ、自分自身が成長していると

感じることができます。

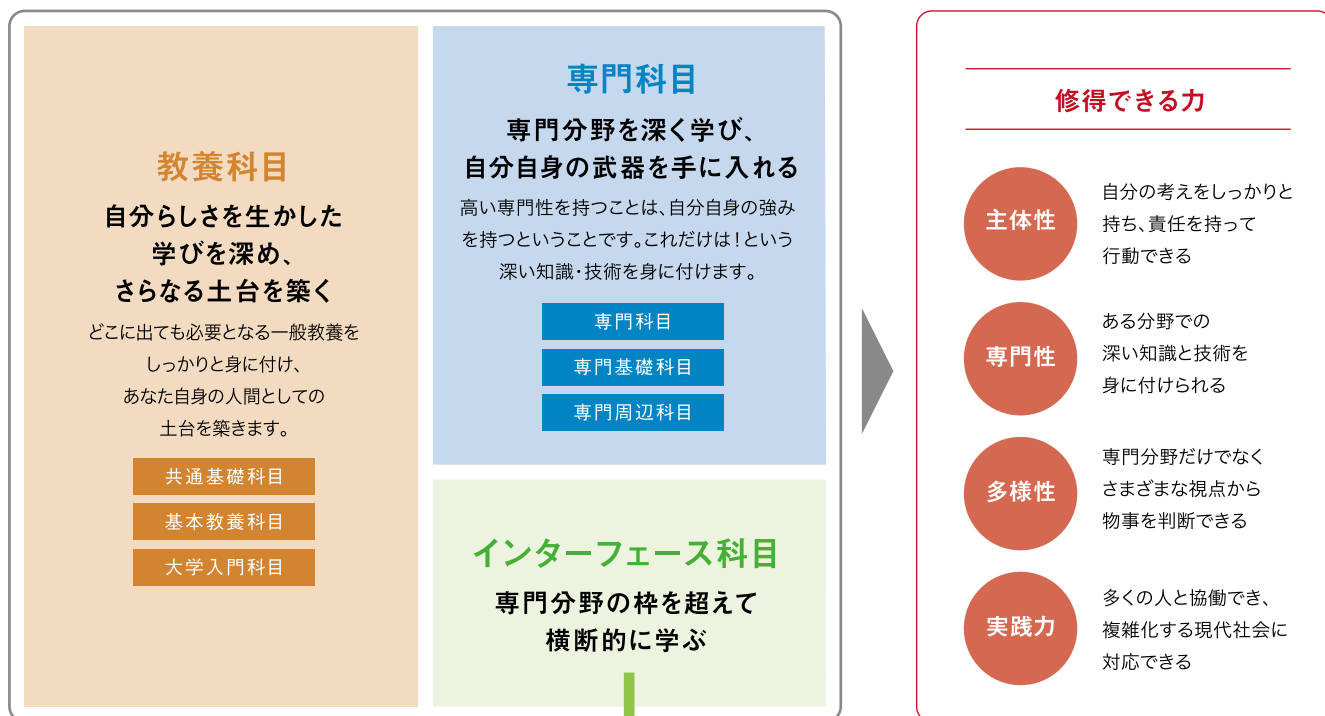
海外からの視点や流通のあり方など、さまざまな角度から経済を深く理解し、将来は幅広い視野を持つ経済のプロフェッショナルを目指しています。



学んだ英語を実践するために、友人と一緒にカルチュラルラウンジへ行くか検討中です。

# 専門分野だけじゃない、 さまざまな「学び」が 多様性のある自分をつくる。

佐賀大学では、専門分野の学びを深めることはもちろん、そのほかにも自分自身が興味のある分野や、実際に社会に出たときに役立つ実践力などを養うさまざまな「学び」の選択を用意しています。専門性を持つだけでなく、どんなことにも取り組める魅力にあふれた人材が、多様化した現代社会に求められています。さまざまな知識と技術を磨ける、最高のジブンをを見つける多彩なカリキュラムを学ぶことができます。



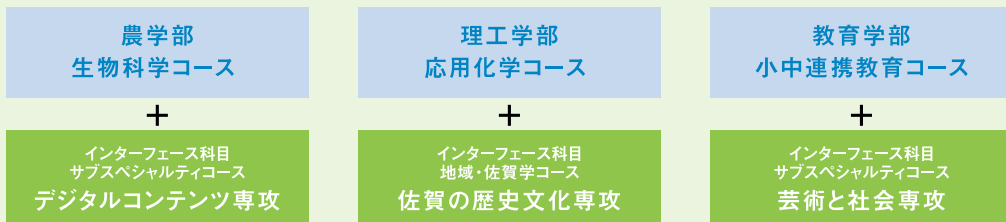
## インターフェース科目 さまざまな分野を学び、より実践的な力を身に付けます。

「インターフェース科目」は、社会とのつながりの中で、より実践的な力を身に付けるために導入された教養教育です。デジタルや芸術、スポーツなど、自分の専攻だけでなく学部を超えてさまざまな分野を学ぶことで、より広い視野や考え方を持つことができます。また地域と関わりながら稼働するアクティブラーニングを導入しているので実践力を養うことができます。

### インターフェース科目

- 環境コース
- 医療・福祉と社会コース
- 文化と共生コース
- 地域・佐賀学コース
- 生活と科学コース
- サブスペシャルティコース
- 人間と社会コース

例えば  
こんな  
組合せ



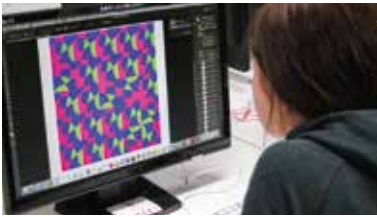
# インターフェース科目 サブスペシャルティコース

インターフェース科目のコースの中のひとつであるサブスペシャルティコースは、自分の得意とするものを主専攻以外にも持つことで、多様化する社会に求められる人材を育成するために導入されました。また、サブスペシャルティコースの中から、さらに2科目受講することで副専攻修了証書を取得することができます。

## 副専攻とは？

自分の学部の主専攻以外に、視野を広げ、深い教養を培うために、別の分野の教育科目を学び修得することです。

## デジタルコンテンツ専攻



社会人になっても活用できるデジタルコンテンツの基礎を学び、コンテンツ作成のスキルを身に付けます。

- チャレンジ!2DCGでデジタルペイント
- できる!魅力的に伝わるWebデザイン
- 実践!ムービー撮影とデジタル編集
- 完成!3DCGで仮想の立体作品に挑戦

## プログラミング・データサイエンス専攻



プログラミングとデータ分析の基本を学び、データ分析の実践やセンサープログラムへの興味を喚起します。

- 初めてのプログラミング
- ワンボードマイコンプログラミング
- 数理統計学入門
- データサイエンス実践

## 実践栽培専攻



植物の生理、栽培管理技術、また土や畑、植物工場において農作物を教材として実際に栽培管理を体験することで農業についての理解を深めます。

- 土を使って栽培してみよう
- 畑を使った栽培に挑戦
- ハウスを使って栽培してみよう
- 植物工場での栽培に挑戦

## 歴史文化専攻



国内だけで完結していた伝統的な日本史の観点から脱却し、諸外国との交流や交渉の観点から日本の近世史と近代史を捉え直します。

- 「鎖国」時代の異文化接触
- 佐賀「賢」人の足跡
- 映画で学ぶ幕末維新
- 地域の文化遺産

## 芸術と社会専攻



絵画、彫刻、デザインなど幅広い領域を学び、西洋美術や現代アートの基礎的な「見方」を修得。漆、木工芸、染色などの制作実践も行います。

- 芸術創造(理論)
- 芸術と社会
- ビジュアル・カルチャー入門
- 芸術創造(実践)または芸術の諸相(音楽・文学・建築)

## 英語コミュニケーション専攻



ネイティブスピーカーの指導により、「話す」技能に重点を置いて学習し、専門的かつ実用的な英語コミュニケーション能力向上を目指します。

- 英語コミュニケーションI
- 英語コミュニケーションIII
- 英語コミュニケーションII
- 英語コミュニケーションIV

## 佐賀SDGsグローバルアクション専攻



人類の「共通言語」としてのSDGsの基礎及び17の目標のうち重点的な課題についてグローバルな視点から学び、「ターゲット」レベルでの佐賀のローカルな課題解決に向けた具体的なアクションを促します。

- 佐賀SDGsグローバルアクションI
- 佐賀SDGsグローバルアクションIII
- 佐賀SDGsグローバルアクションII
- 佐賀SDGsグローバルアクションIV

こんなサポートも

## 「学び」がスムーズになる頼れるシステム

### ポートフォリオ

学期初めに自分の目標や将来像を入力し、そのうえで日々の学習時間などを記録。その内容を担当教員が確認し、アドバイスをを行います。自己分析の重要な材料となります。



# 今こそ学ぼう！ 仕事・暮らしに役立つ データサイエンスの基礎。



日本だけでなく世界的にも注目を集め、必要不可欠となっているデータサイエンス。佐賀大学では2021年度より、全ての学部の新1年生を対象とし、必要に応じたデータサイエンスを学ぶことができるようになりました。「数理・データサイエンス・AI」は、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」といわれており、今後、皆さんが社会で活躍するための必須スキルです。

## データサイエンスとは？

現代社会では、ICTの急速な進化によって多彩なデータが得られるようになり、膨大なデータが蓄積されています。それが一般にビッグデータと呼ばれるものです。そしてそのデータを読み解き、価値ある情報を導き出すのがデータサイエンスです。決して新しい研究分野ではなく、すでに多くの企業や社会で活用されており、様々な業種・分野で今後も不可欠になっていくと考えられます。そこで佐賀大学では、データサイエンス教育プログラムを策定し、2021年度から全員が学べるようにしています。

### データサイエンスの活用例



データを正しく読み解き説明する力がつく

どんなところでデータサイエンスが使われているかがわかる

### データサイエンスを学ぶことで、できること

データやAIを利活用する際の倫理やルールがわかる

データ社会の脅威を理解しリスク回避できる

データ保護の重要性と保護のための方法を理解する

### 教育学部



教育

教育の現場でもデータサイエンスは重要になり、今後は小学生や中学生への教育も普及して行くことが考えられます。自分で理解するだけでなく、人に教える理解が望まれます。

- [リテラシーレベル]
- 情報基礎概論
- [応用基礎レベル]
- AI・数理・データサイエンス

### 芸術地域デザイン学部



地域・文化

たとえば橋や道路の交通量のデータを蓄積して渋滞緩和や安全対策に活かしたり、従来は勘や経験に頼っていた地域のものづくりが数値化できるなど、暮らしの質の向上が期待できます。

- [リテラシーレベル]
- 情報基礎概論
- [応用基礎レベル]
- AI・数理・データサイエンス

### 経済学部



企業経営

データサイエンスは経済と密接に結びついていきます。現在もすでに日常の買い物、ネットショッピング、交通手段などから多くのデータが蓄積され、それを活かした商品開発やサービスが展開されています。

- [リテラシーレベル]
- 大学入門科目 ●情報基礎概論 ●基本統計学
- 基本ミクロ経済学 ●基本経営学 ●基本法学
- [応用基礎レベル]
- AI・数理・データサイエンス

### 医学部



医療・介護

新しい治療方法や医薬品の開発にはデータサイエンスが不可欠です。健康・介護・医療のビッグデータを利用し、個々人の健康管理や疾患予防への取り組みも期待されます。

- [リテラシーレベル]
- 情報基礎概論
- [応用基礎レベル]
- AI・数理・データサイエンス

### 理工学部

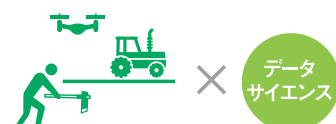


製造・開発

製品・技術開発の分野ではビッグデータの分析・活用が進んでいるほか、製造業でも効率化や安全のためのAI活用が進んでいます。人的・時間的な効率化も可能となります。

- [リテラシーレベル]
- 理工リテラシー-S1・S2 ●データサイエンスI・II
- [応用基礎レベル]
- 微分積分学 ●線形代数 ●データサイエンス 他

### 農学部



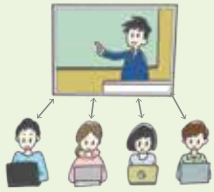
農業

AIやIoT、ビッグデータ、ロボットを活用したスマート農業の実現にはデータサイエンスが基本となり、農業が抱える人手不足の解消や生産・流通の効率化を図ることが可能になります。

- [リテラシーレベル]
- 情報基礎概論
- [応用基礎レベル]
- AI・数理・データサイエンス

# 学びも夢もあきらめない 新しい授業形態

佐賀大学の  
「いま」



## 安心できる環境で、新しい学びのカタチを

佐賀大学では、コロナ禍での劇的な社会変化に柔軟に対応し、安心して学生生活が送れるように、環境と体制を整えています。

アフターコロナに訪れるニューノーマルな学びのカタチで、佐賀大生が目指す夢や将来を応援します。



## 佐賀大学は「いま」も元気です

佐賀大学では、学生のみなさんが安心して佐賀大学に通い、そして学ぶために、独自の活動制限指針を設け、感染状況や社会情勢をしっかりと見すえながら、授業・活動を行っています。施設内の徹底した消毒や消毒液の設置などの対応を行い、安心して活動できる環境づくりにも努めています。

授業は、原則として対面で実施しています(2022年5月現在)。これに加え、オンライン授業や対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド授業など、コロナ対策と教育効果を考慮して最適な環境で授業を行っています。まさに、ニューノーマルな学びのカタチを体感することができるでしょう。



マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保ちながら対面授業を実施。先生や同級生とコミュニケーションを図る機会にもなっています。

### オンライン授業



オンライン授業では、チャットで意見交換したり、グループディスカッションしたりと、同学年や同学部内でのコミュニケーションも図っています。

### 食堂



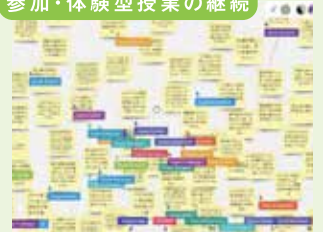
多くの人が集まる食堂でも、密にならないよう配慮。席を半分に減らしたり、必要な箇所にはビニールの仕切りを設けるなど、お互いに接触しないようになっています。

### サークル



サークル活動も、活動参加者の記録(検温・体調)と提出、活動時間は1日2時間を目標とするなどの一定の基準を設けた上で活動を許可しています。

### 参加・体験型授業の継続



オンライン・ホワイトボードを使って、グループワークを実施。オンライン授業でも授業のメンバーとの協同を通じた学びを実現しています。

## \ PICK UP /

### 農学部コロナ禍でのフィールドワーク授業

農学部で重視しているフィールドワーク。感染対策の一環として、教室が密にならないようクラスを2班に分けて授業などを行っています。この日は収穫の授業。1班はバスに乗って「アグリ創生教育研究センター」へ、もう1班は本庄キャンパス内の「植物工場」へ出かけました。移動で使うバスに乗る際にはマスク着用を徹底し、検温・アルコール消毒を行ったうえで、隣同士にならないように座って感染対策を行いました。屋外のフィールドワークでも3密を避けながら、細心の注意を払って活動を行っています。

徹底した感染対策を実施。車内が密にならないよう、2往復して学生を送迎しました。



#### 1班

自然豊かな「アグリ創生教育研究センター」の畑で、立派に育った里芋の収穫。



#### 2班

多彩な野菜を育てている「植物工場」。みずみずしく育った葉物野菜やプチトマトを収穫。





最高のジブンを叶える

# GLOBAL

## 教育分野を深めるために フィンランドへ留学。 PAGE<sup>\*</sup>で培った英語力が 役立ちました。

教育学部 小中連携教育コース  
久我 薫 福岡県 福岡雙葉高等学校出身

### ネイティブの先生による授業で 飛躍的に英語力がアップ。

入学時にグローバル人材育成に力を入れているプログラム・PAGE(旧ISAC)を知り、英語にとっても興味があったので受けてみたいと強く思いました。PAGEの授業は、外国人の先生による徹底指導がほとんど。必死に受講しているうちにいつのまにか英語力も身に付き、TOEIC<sup>®</sup>のスコアも1年で100点以上伸ばすことができました。また、国際的な問題や世界の国々について学ぶ授業も多く、英語だけでなく世界情勢の知識も広がったと感じています。PAGEを通じて他学部の友達もでき、留学という同じ目標に向かって切磋琢磨し合うことができました。



海外の友達とは日本語や英語を交えて交流。国が違えば、考え方も違い、価値観の違いを受け入れることができるようになりました。



英語でプレゼンテーション。話すだけでなく、身振りや英語のフレーズなどを使ってアピールします。

### 留学生と積極的に関わることで、 それぞれの国の価値観を学べます。

現在、私は留学生に充実したキャンパスライフを送ってもらうために、さまざまなイベントなどを企画するグローバル・リーダーズに所属しています。以前実施した佐賀市内のウォークラリーは、留学生の友達づくりのきっかけになったととても喜ばれ、私たちもうれしかったです。そのほかにもアパートの契約や銀行口座の開通といった留学生の生活をサポートするチューターも行っています。学内にはアジアを中心に欧米などいろいろな国からの留学生が多いので、彼らと話すことで異文化や新しい考え方を学ぶことができ、自分の中に違った価値観を見いだすことができました。



留学や語学力の不安などは、先生にいつも相談にのってもらいました。留学情報やノウハウなど、的確なアドバイスをいただきました。



※令和3年4月1日よりISACはPAGEへと名称を変更

## 自分自身の成長を感じられた リトアニアやフィンランドの海外留学。

1年次にはアメリカへ10日間、2年次にはリトアニアへ2週間、そして3年次に1年間のフィンランドへの留学を経験しました。どの留学も私にとってはとても興味深いものでしたが、特に教育に力を入れているフィンランドでの経験は、高校生の頃から海外における教育に興味を持っていた私にとって貴重な時間でした。留学を経て英語力が伸びたことはもちろん、大学や仕事に対するアジアとは異なる考え方を知ることができ、視野が広がりました。また、視野が広がったことで、「アメリカの人ならこうするだろう」「フィンランドの人ならどうするかな?」と考えるようになり、選択

肢の幅が広がり生活の中に幸せが増えた気がします。将来はこの経験を授業に取り入れ、子どもたちに楽しみながら学びを伝えられる教員になりたいです。

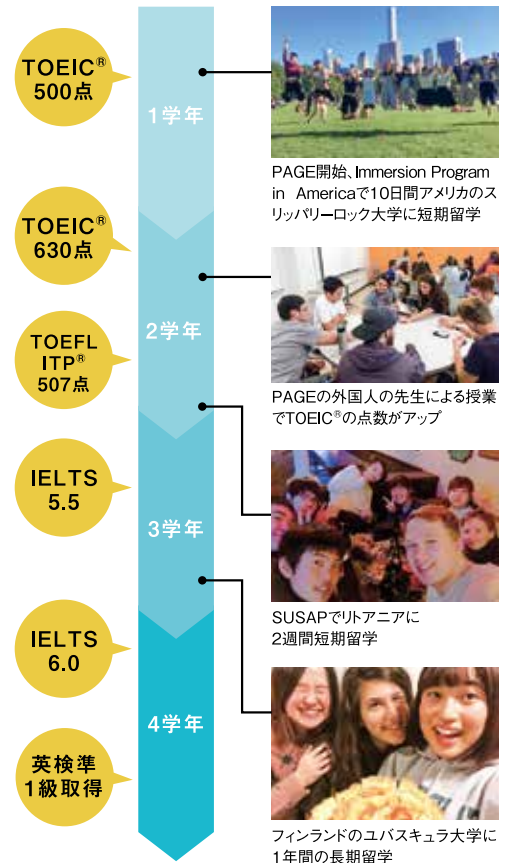


フィンランドへの留学は、驚きと感動の連続。世界に友達を作るという私の夢がひとつ叶いました。

## 久我さんのグローバルグラフィ

### 生活の中に、自然に英語がありました。

PAGEに所属していたこともあります。佐賀大学の生活は、日常に英語があるという感じでした。単語を覚えたり、本を読んだりして英語を机で勉強することも大切ですが、何より留学生との交流や外国人の先生方による授業などが、私の英語力をアップさせてくれたと思います。



### 留学生と一緒に学生生活を楽んでいます。

留学の経験はもちろんですが、佐賀大学の構内には私が所属しているグローバル・リーダーズが、昼休みに誰でも参加できるカルチャールラウンジなどを開催しており、留学生と交流できる環境が整っています。自然に異文化や語学に触れることができ、私自身も楽しく学んでいます。

## 海外留学アドバイス

### コツコツ続けることが英語力向上の秘訣。

留学するためには、大学が設定する英語の基準点を満たしていないといけません。そのため、ある程度の英語力を身に付けておくことが必要。自分が希望する大学に行くためにも、毎日1時間でもいいのでコツコツと英語の勉強をしておくことをオススメします。

# 言葉や文化を超えて 新しい世界を知ることが、 自分の可能性を大きくする。

社会の急速なグローバル化と変化する国際情勢の中、国際感覚を持った人材が必要となっています。佐賀大学では、コミュニケーションの手段としての確かな英語力を身に付ける取り組みを行うとともにさまざまな価値観や背景を持った外国人と共に交流していくためにコロナ禍を踏まえた上でのイベントや多彩な留学プログラムを用意し、グローバルな人材育成をサポートしています。

## 01 一歩一歩、着実に伸びる 英語力

学生に明確な学習目標を与え、自ら英語力をアップさせるためのさまざまなシステムを用意。これらのシステムにより、全学生の英語力は、飛躍的にアップし、就職にも役立っています。



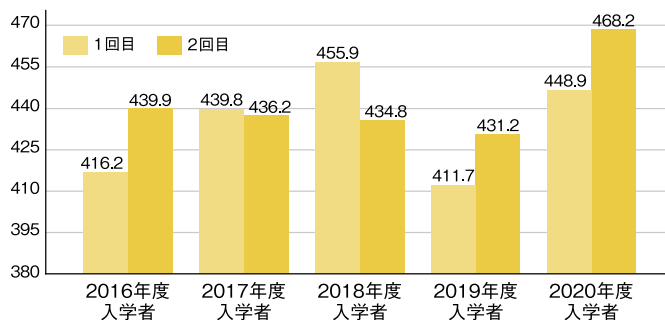
### TOEIC®全員2回受験

#### これからの社会に必要な、 英語力アップはここから。

佐賀大学では2013年度より、全学生を対象とした英語能力試験を実施しています。学生は1年次と2年次において2回のTOEIC®受験が義務付けられており、2回目のスコアは英語の授業成績に反映される仕組みとなっています(医学部では1年次に2回受験し、両方のスコアが授業の成績に反映されます)。全学部学科の平均点はホームページにて公表中です。

<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/toeic.html>

全学生のTOEIC®スコア(平均点)の推移



### PAGE(学術英語プログラム)

#### 徹底指導で英語力を引き上げ グローバルな人材を育成します。

学術英語プログラム(Program for Academic and Global English)は、一定の英語力と留学への意欲がある学生を対象としたカリキュラムです。ネイティブスピーカーによる授業を通じ、原則として3年間で留学及び国際交流に必要な英語力と知識を身に付けます。留学後も、英語力及び異文化交流の維持・向上を目指すことを目標としています。定員は1学年40名程度で、履修希望者を対象に選抜テストを実施します。

### Academic Express 3

#### eラーニングを活用し 英語力の質を向上させます。

世界最大級の教材データベース「スーパー英語」から、学習時間1,000時間を超える膨大な教材を提供するeラーニングサービスを拡充し、英語教育をきめ細かくサポートします。特に留学に必要な英語力を身につけるための教材が充実しており、継続して利用することでTOEFLやIELTSのスコアアップにつながります。

### オンライン英会話ラウンジ

#### オンライン英会話レッスンで留学に 向け英会話力を向上させます。

佐賀大学では留学を目指す佐賀大学生に無料で受講できる英会話レッスンプラットフォーム「オンライン英会話ラウンジ」を提供しています。一回25分の個人レッスンでは外国人インストラクターと自由に会話をしながら英語力、コミュニケーション力を向上させることができます。オンラインでのレッスンなので、インターネット環境であればいつでも、どこでも英会話が楽しめます。

## 02 ふれあいながら伸びる 国際交流イベント

国境を越えて交流活動を行うチームや交流をしながら言語や文化を学ぶイベントなど新しい自分を発見し、よりグローバルな視点が広がる環境を用意しています。



### より身近に、より積極的に国際交流の場を提供

学内で開催される国際交流イベントは学生自身が企画運営をしています。留学生と交流する中で言語交換や文化体験を経験し、国境を越えて佐賀大学の友人として交流が続けられる関係を築き、キャンパス内で国際交流が体験できます。

#### インターナショナル ミートアップ

留学生を含む国際交流に興味のある学生が集まり、趣味や文化など好きに会話を楽しむイベントです。初対面でもトピックシートを会話のきっかけとして使い、交流を深めることができます。参加者は皆、国際交流に興味のある学生なので、同じ共通点を持つ仲間に多く出会う機会となります。

#### カルチュラルナイト

佐賀大学学内で最大級の国際交流イベントで、多くの留学生と日本人学生が参加します。イベントには例年、各国の伝統的な衣装、食事や観光名所、文化的な体験などができるブースが出店されます。またステージパフォーマンスもあり、ステージ上で伝統舞踊や歌を各国の留学生と日本人学生が披露します。佐賀大学にいながら世界を「見て」「感じて」「体験する」イベントです。



## 03 現地で経験して伸びる 海外留学支援

お金のこと、治安のこと、学力のこと、コロナ禍のこと。興味はあるけれど、不安も多い海外留学。佐賀大学では、留学を希望する学生に対して、さまざまな角度からサポートを行い、安心して国際交流できるように支援しています。



### SUSAP SAGA UNIVERSITY STUDY ABROAD PROGRAM

### 留学をもっと身近に、もっと気軽に体験しよう。

留学に興味はあっても、費用や時間などの問題でなかなか踏み切れない学生に用意された短期海外研修プログラム。期間が短いので費用も安く抑えることができ、現地の大学で実際に学ぶので、海外旅行よりも充実した時間を過ごすことができます。春休みと夏休みに実施され、休暇を無駄にしません。



### 奨学金

### 夢を叶えるために 必要なお金をサポートします。

佐賀大学には独自の奨学金制度があり、交換留学をする学生の90%以上が何らかの奨学金を受給して出発しており、金銭面での不安をサポートします。また、オンライン研修プログラムの受講料を補助する制度もあり、金銭面であきらめないように、学生の夢の実現を応援します。

### 交換留学

### 海外協定大学への 長期の交換留学も可能。

世界19カ国・地域71大学と協定を締結しており、大学の推薦を受けて、協定校へ派遣されます。正規留学よりハードルが低く、留学がより実現可能になります。また、さまざまな支援やサービスで、安心して留学に挑めます。

詳しくは100ページへ

最高のジブンを育てる

# PLACE

## 充実した環境や施設が 大きな刺激と成長を 与えてくれる。

佐賀大学構内には8社の企業や団体が設置されており、  
大学でありながら社会と交わる機会があります。  
「美術館」や「ラーニングcommons」、新しくなった理工学部棟や  
地域と大学をつなぐ「産学交流プラザ」など  
最高のジブンを育てる、バラエティ豊かな環境を整えています。

### キャンパスへの企業設置

#### キャンパス内に8社を誘致。 社会実装教育をより身近に。

佐賀大学では「グローバルな視野を持つ地(知)の拠点」を目指し、これまでIT関係、ロボット工学、AI、電気化学に関わる様々な企業・団体をキャンパス内に誘致するという画期的な取り組みを行ってきました。キャンパス内に開設された企業ではそれぞれに佐賀大学と連携しながら社会実装教育が行われ、学生に社会のあり方を示唆するとともに、共同開発をさらに発展させることで地域貢献も目指してきました。中には、株式会社中山鉄工所が一般向けに開設しているロボット教室「佐賀大deラボ」のように、より分かりやすい形で情報発信している取り組みもあり、注目を集めています。学内の一部の企業ではアルバイトやインターンシップも受け入れており、社員たちとともに実社会の現場や仕事を体験することも可能です。今後は、佐賀大学発ベンチャーとしての起業支援も含め、より広い視野での実践的な学びを応援していきたいと考えています。



佐賀大学に  
設置されている  
企業8社

OPTIM®



Nakayama



福博印刷株式会社

METAL JACKET

SDC

株式会社 佐賀電算センター



Citynow Asia  
create tomorrow together



佐賀新聞社

SAGATV

ITで地域社会に貢献する。



### 人的交流を活発にし、ITの可能性を追求。

佐賀大学とは古くからの付き合いがあり、システムの納入やCBT入試の共同開発のほか卒業生の入社も多く、強い信頼関係を築いてきた佐賀電算センター。2020年6月に佐賀大学と連携協定を結んだことを機に、本庄キャンパス内に共同研究開発拠点として「R&Dセンター」を開設し、AIやIoTを得意としているメンバーを配属しました。ここではDX(デジタルトランスフォーメーション)技術を活用し、CBTシステム開発やAI(チャットボット等)・MRの共同開発をはじめ、佐賀大学と企業との人材交流、デジタル人材の育成なども推進しています。以前から受け入れていたインターンシップも、昨年からR&Dセンターで実施。若手社員を指導担当に付けたことで社員と学生が互いに刺激を受け、思いもよらないよい結果を生みだしています。常に新しいことを取り入れている佐賀大学に拠点を置くことでチャレンジ精神に刺激を受けるとともに、先生方や学生とよりよい関係を築き、相互の発展や地域産業へ貢献していきたいと考えています。



ネットの力で世界に光を与える。



### 現代社会の問題をITの力で解決に導く。

「ネットを空気に変える」という企業コンセプトを掲げ、社会が持つ問題をITで解決することを目指したオプティムでは、医療や農業などさまざまな分野で研究開発を行っています。アルバイトをしている学生たちは、ドローンを操縦して実際に農業現場でのお手伝いを行ったり、スマート米のパッケージデザイン補助を行うなど、社員と一体となり業務に関わり実社会を体験。学生たちの型にとらわれない斬新なアイデアは、社員たちの刺激となり、会社全体の士気が高まっています。社員による講義も行われており、佐賀大学と深い関係が築かれています。今後は、佐賀から世界をリードする第4次産業革命を起こすべく、より多くの開発の実現を目指していきます。



アイデアをカタチにし、地域貢献へ。



### ものづくりを身近にし、アイデアを形にできる場所。

2019年8月より設置された「佐賀大deラボ」は、株式会社中山鉄工所が運営するロボット開発に向けて活用できる産学連携拠点です。気軽にものづくりに触れることができ、アイデアをカタチにする充実した設備を整えています。サッカーをする自立型ロボットの開発や、一般の方々に向けてのロボット教室など、現在では主にロボットに関する研究が行われています。近年、注目されている3Dプリンターや金属でも加工できるCNCフライス盤といったデジタル機器から、穴あけ加工のボール盤、半田ごてなどのアナログ機器まで幅広く完備しています。学生たちと共に最新機器に触れ、アイデアを生かしたものづくりを行い、それを地域貢献に役立てていくことを目標としています。



ともに学び、成長するための環境・施設が充実。



佐賀大学美術館



### 教育、芸術振興、地域交流に貢献する美術館。

佐賀大学美術館はガラス張りの明るく開放的な造りで、大学正門に位置しています。美術・工芸作品を展示・収集・保管しながら、教育の実践の場として活用し、さらに地域の人々にも気軽に観覧していただけるように造られています。大学主催の企画展示のほか、市民や卒業生の企画展示も行っています。



### EVENT



2020年のコロナ禍において、世界各地で実施されたブルーライトアップムーブメントに賛同。医療従事者への感謝と激励を込めて、美術館の内側からLED電球を使用してライトアップしました。



### ラーニングcommons

仲間と交流し、  
楽しく学びを深める場所。

構内にある図書館の1階は全て、可動式のテーブルとイスを設置し、学生が集まって勉強や議論ができる学びの空間として利用できます。



理工学部棟4号館

教授たちが手がけた  
建築を実践的に学ぶ新校舎。



建築系の研究室と演習室などをまとめた理工学部4号館は、佐賀大学の建築系教員による設計監修で改修されました。天井をスケルトンにして補修部分や空調や電気設備の配管等を見せるなど、学生が建築を実践的に学べる環境です。



産学交流プラザ

産業や地域とのつながりを深め  
新たな知の拠点を目指す。



2021年に、佐賀大学の新たな知の拠点として開設されたのが産学交流プラザです。北側は全面ガラス張り、建物中央部は吹きぬけの開放的な造りです。学内のユニークな研究や共同研究の成果を紹介したり、地域連携や産学連携を推進・サポートする窓口などが集約されています。

PICK UP

いろいろな面から学生起業家を支援。

詳しくは  
P22-23

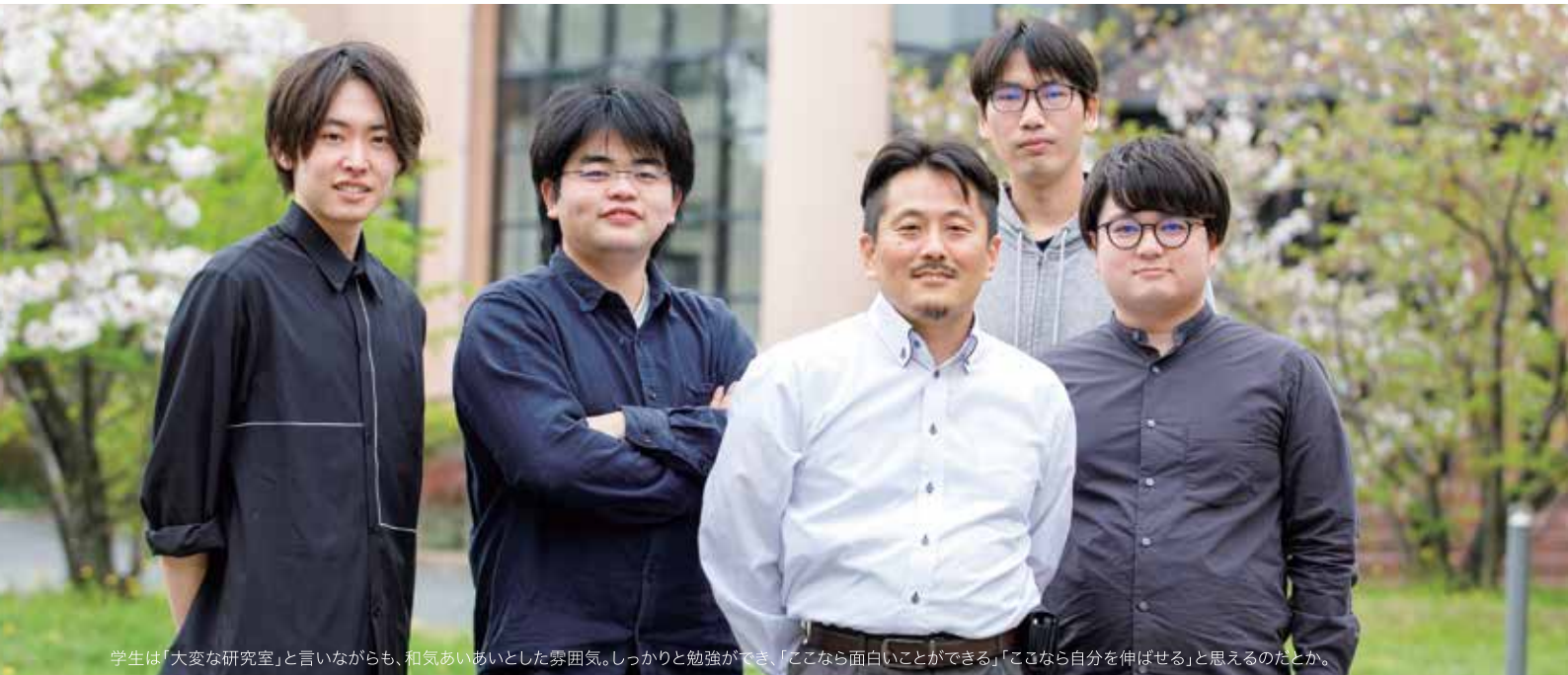


2階部分は学生ベンチャースペースです。佐賀大学の学生が起業したベンチャー企業も入居し、互いに刺激あいながら事業や研究に取り組んでいます。新たな学生起業家を応援する環境が整っています。



# 失敗を恐れない自由な発想と環境が 新たな起業家を導き出す。

佐賀大学では、創造的人材の育成を目指して学生起業家育成の講演会を開催したり、佐賀大学ベンチャーの称号を設けて支援を行うなど、学生ベンチャーに前向きに取り組んでいます。そんな中で注目を集めているのが、理工学部の中山研究室。学生起業家を輩出している環境や、学生起業家の姿を紹介します。



学生は「大変な研究室」と言いながらも、和気あいあいとした雰囲気。しっかりと勉強ができ、「ここなら面白いことができる」「ここなら自分を伸ばせる」と思えるのだから。

中山研究室は、理工学部の中山功一先生の研究室です。ドローンを使った防災研究、ディープラーニング、ブロックチェーンなどを中心にしながら、30人ほどのメンバーが自由に研究を行っています。中山研究室から最初に起業したのは、2017年の合同会社ロケモAI。

以来、次々にメンバーが起業し、現在4人の学生起業家が在籍していますが、「起業はあくまでソリューションの一つ」というのが先生の考えです。優秀な学生が多く、仕事が増えた時にはお互いに助けあえる環境があることも、起業を支えている一つの要因です。



〈 合同会社ロケモAI 代表社員（創業時） / 株式会社NEXS 代表取締役社長 〉

## 梶原 薪

佐賀県 唐津東高等学校出身

学部4年次で起業。地図に関する研究をし、幼稚園や保育園にバスの位置情報を知らせるサービス提供で起業。研究室最初の起業となった合同会社ロケモAIの創業時の代表社員で、のちに一人で株式会社NEXSを起業。



〈 株式会社SA-GA 代表取締役社長 〉

## 森山 裕鷹

福岡県 福岡工業高等学校出身

学部4年次の夏に起業。ブロックチェーンを研究し、複数の特許を取得。その特許の製品化をきっかけに起業し、現在は、学校の先生たちの業務負担をなくすために、学校PAYで校納金などのキャッシュレス化に取り組んでいる。



〈 株式会社山城機巧 代表取締役社長 〉

## 山城 佑太

福岡県 八女学院高等学校出身

中山先生のために作った、腰の負担を軽減する用具（フワット）を開発し販売。「福祉機器コンテスト」や「さがラボチャレンジカップ2019」で受賞し、2020年には「キャンパスベンチャーグランプリ」の全国大会で最優秀賞を受賞。



〈 株式会社AS 代表取締役社長 〉

## 浅川 泰輝

福岡県 東福岡高等学校出身

学部4年次で起業。インターネットを使ったモバイルオーダーシステム「ASオーダー」を提供。「さがラボチャレンジカップ2020」で最優秀賞を獲得し、「佐賀大学発ベンチャー」称号の第2号を授与される。



## 学生起業家 座談会

### Q. 起業のきっかけを教えてください。

**梶原さん** もともと起業に興味はありましたが、在学中に起業する想定はしていませんでした。研究の中で開発したシステムを仕事として提供するには、会社というカタチをとった方がいいだろうということで、起業することになりました。



**森山さん** 私も当初から起業しようと思っていたわけではありません。ただ、研究室に入り、いくつか特許をとったり仲間に出会う中で、自分に自信がしたのは確かです。「やるぞ!」と勢い込んだわけではなく、淡々とやるべきことをやっていたら「目の前に起業があった」という感じです。

**山城さん** 私は、腰がづらい中山先生のために作った「フワット」が福祉機器コンテストで受賞し、製品化することになったのが起業のきっかけです。機器の製造には資金が必要なのでクラウドファンディングを活用しましたが、その後のフワットの発展とリスク分散として起業しました。

**浅川さん** 私は昨年10月に起業したばかりです。昨年、佐賀県から研究室に仕事依頼があった時に、先輩方から声をかけてもらったのがきっかけです。入学当時は起業するとは思っていませんでしたが、勢いで起業することになりました。



**中山先生** 研究室から4人の社長が出ていますが、特に起業を勧めているわけではありません。やりたいことに対して起業が向いていれば勧めるし、向いていなければ勧めません。起業は、やりたいことをやるための一つの方法に過ぎません。

### Q. 大学生活や起業を通して感じたことは?

**梶原さん** 佐賀大学でプログラミングを学んだこと、中山研究室に入ることが、私の大きな転機です。起業に際しては、特に大変だと感じたことはありませんが、起業後は様々な苦難を経験しました。今の会社は個人経営で自分の思い通りに決断することができ、非常におもしろいです。

**森山さん** 私も、入学してソフト開発にのめり込めたことがよかったです。佐賀大学や中山研究室には、自分が頑張った分だけ応援してくれる環境があります。起業した当初は、「失敗したらやめればいい」と思っていたのですが、お客様と接していく中で覚悟が定まり、今はずっと仕事を続けていきたいと思っています。



**山城さん** 大学に「フワット」の研究予算を組んでもらったり、佐賀大学発ベンチャーの第1号をいただいたりと、佐賀大学には応援してもらっていると感じています。イベントや展示会ではお客様と直接関わることも多

く、お客様がいることのありがたさ・面白さを感じています。

**浅川さん** 入学当初は勉強にもあまり面白みを感じられませんでした。研究室に入ったらすごい人ばかりで「ここなら面白い、頑張れる」と思いました。仕事としては難しいことも多いですが、研究室には個人的に目標にすべき人も多くて、日々やりがいを感じています。

**中山先生** 研究室は技術を教える場ではなく、一人ひとりの働き方や学び方を見つける「場」、能力を伸ばす「場」、活躍できる「場」でありたいと思っています。今回、学生たちの話を聞いていると、自分の気持ちが伝わっているようで、とてもうれしく思います。



### 梶原薪さんの学びと成長

